

第42回

THK THK MANUFACTURING OF VIETNAM

THK株式会社は東京都品川区に本社を置く機械要素部品メーカーです。独自の技術により機械の直線運動を転がり化したリニアモーションガイド(LMガイド)を開発し、世界で初めて製品化しました。LMガイドを中心とした同社の「直動システム」はメカトロニクス機器の高精度化・高速化・省力化など機械性能の飛躍的な向上に大きな役割を果たしています。

今回はLMガイドのパイオニアであるTHKの海外生産拠点の一つであり、ハノイからほど近いバクニン省に工場を構える「THK MANUFACTURING OF VIETNAM(以下TMV)」の松田社長にお話を伺ってきました。THKは10月にホーチミンで開催される展示会、「MET-ALEX Vietnam」に出展予定です。

●事業内容

直動システム及びそれに関連する部品の製造

●THK MANUFACTURING OF VIETNAM CO.,LTD.  
Lot 5, TS9,  
Tien Son Industrial Zone,  
Tien Du dist, Bac Ninh

●日本本社  
東京都品川区西五反田三丁目11番6号



一事業の概要を教えてくださいませんか？

TMVの親会社であるTHK株式会社は、1971年4月に創業し、現在グループ全体の従業員数は9,000人を超過しており、販売拠点が日本国内に45ヶ所、海外に75ヶ所、生産拠点が国内に12ヶ所、海外に15ヶ所ございます。

THKは、「LMガイド」という機械要素部品を世界で初めて開発しました。サンプル(図 LMガイド参照)を使ってその機能をご説明いたします。LMガイドは、レールとブロックで構成されており、このブロックはレール上を非常に滑らかに動くことができます。と言いますのも、ブロックの中には小さな鉄のボールがいくつも連なって並

んでいて、その鉄のボールがレールとブロックの内部に加工された溝を転がる仕組みになっているからです。回転用のベアリングを直線上にしたものをイメージしていただけると、LMガイドを理解しやすいかも知れません。転点動体(ボールやローラー)を使って転がり化することで、物を滑らせるよりも摩擦が少なく、小さな力で、より精密な動きが可能になります。

このLMガイドをクロスに組み合わせることで前後左右という平面運動をスムーズに行うことが可能です。重たい金属などもスムーズに動かすことが可能になりますので、工作機械の精度を飛躍的に高めることが出来るようになりました。現在、THKの製品は多くの工作機械でも利用されています。また、重たいものを滑らかに動かす技術を応用することで免震装置などにも利用されています。

さてベトナム工場、TMVについてですが、本格的に製品を出荷し始めたのは、2011年1月からになります。企業形態は輸出加工型企业(EPE)です。

THKとしての主力製品はLMガ

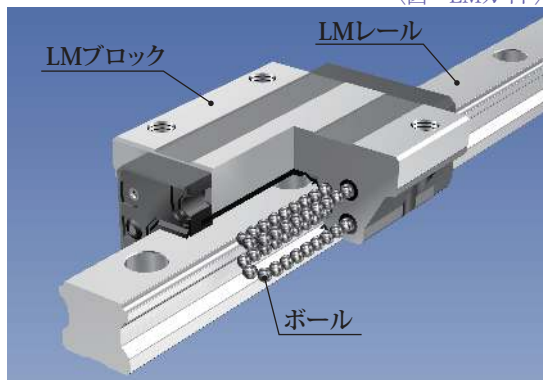
イドなどの直動システムですが、TMVでは直動システムの中のスライドレールの製造と、LMガイドに使われる成形部品の製造を行っております。スライドレールは、家具、システムキッチン、コピー機などの引き出し部分に使用されており、今のところ安価なものというよりは、信頼性や耐久性が要求される比較的高級な製品に多く用いられています。

一進出の経緯について教えてくださいませんか？

市場の発展するアセアンへの進出を検討したとき、THK製品の主要な消費地の一つである、中国へのアクセスを考慮し、アセアンの中でも中国に近い場所、陸送も可能なベトナム北部への進出を決めました。北部でもバクニン省を選択したのは、ハノイ市に隣接し優秀な人材の確保も容易であり、インフラ面も比較的整備されていること、そして、ノイバイ国際空港や海上輸送の要所であるハイフォン港へのアクセスも良いことが大きな理由です。また、バクニン省の政府関係者方の対応が非常に良かったのも決め手の一つです。

TMVでは3期に分けての工場建設を計

〈図 LMガイド〉





画しておりまして、現在第1期の工事が完了し、そこでの製造を行っております。これから2期工事、3期工事と工場を拡張していくに伴い、現在は主にスライドレールを生産していますが、THKの主力製品であるLMガイドなどの生産ももちろん視野に入れていきます。また、工場拡張に伴い、従業員も増やしていきたいと考えています。

#### ー従業員の採用についてお聞かせください？

現在、TMVには約120名の従業員がおりますが、昨日面接を終了しましたので、来週には130名を超える予定です。毎月1、2回採用を行っていますが、1回の採用では多くても15名程度しか採用いたしません。これは入社した社員に技術はもとより勤務態度や仕事への取り組み方といった教育を重視しているためで、この教育を効率的に行える人数として少人数での採用としています。

募集方法ですが、スタッフは主にインターネットを使って募集しています。ワーカーに関しては、工場の正門に求人募集の張り紙をするのが一般的ですが、TMVの場合は、採用の人数が多くないことと、信頼のおける人を採用しやすいということで、従業員の知人や親戚などから就職希望者を募っています。面接は基本的に応募者全員に対して行いますが、挨拶ができるか、人の目を見て話したり聞いたりできるか、長期で働くことができるか、といった点を重視して採用しています。

また、ワーカーに関しては自分で通勤できる方を採用し、スタッフに対してはハノイ市内からの送迎バスを出しているのですが、やはり1時間以上の通勤は負担になり退社につながってしまうようなので、スタッフもなるべく工場近くに住める人を採用しています。

#### ーベトナム人に対する評価はいかがでしょうか？

仕事と家庭に対する価値観が日本人とは異なると感じております。家庭の事情で退職という選択に至ってしまうことしばしば見受けられます。また、転職に対する抵抗感が少なく、ステップアップと捉えている人もいます。それもまた、スタッフ、ワーカーともに離職率の高さに繋がっているように思います。

ですから社員に長く働いてもらえるよう、社員にとって魅力的な会社にしていくことが非常に重要だと考えています。

そのためにまず教育の時間を惜しまないようにしております。例えば、月に1回全員参加のモラルに関する講習会を行ったり、週1時間、自由参加の日本語講習会を行ったりしております。また、ワーカーに対する評価が横並びにならないよう、努力した人に適切な評価をするよう心がけています。3ヶ月に1度、態度、感謝、成長の観点から、20項目に渡る評価をし、わずかですが手当にも反映させています。これは誰がどれだけの量の仕事をしたかという評価ではなく、THKの価値観を共有して行動ができたかの評価です。

また、社員との親睦も大切にしています。社員旅行や忘年会はもちろん、不定期の食事会も行っています。それから、従業員の冠婚葬祭には基本的に全て出席するようにしています。今後従業員の数が増えていけば、すべてに参加することは不可能になる時が来るかも知れませんが、とにかく出来る限りは一人一人の社員のために時間を使いたいと思っております。

#### ー10月にホーチミンで開催される「METALEX Vietnam」に出展されますが、出展の目的など教えていただけますか？

ベトナムでの展示会出展は、今回が初めてとなります。今回の出展のもっとも大きな目的の一つは、THK製品に対する認知度を高めることにあります。ベトナムに進出されている日系企業様を始めとする外資系企業様がお使いになっている生産設備の中にTHKの直動システムが組み込まれているケースも少なくないかと思います。その直動システムを製造しているTMVがここベトナムにあると知って頂きたいですね。また、展示会は短期間に多くの人と接することができるチャンスであり、展示会を通して情報交換、情報収集をしていきたいと思っています。THKの様々な種類の製品を展示し、ベトナムでのニーズを確かめていきたいです。

かつての日本がそうであったように、今後ベトナムの製造業でも作業の自動化が進んでくるとは思われますが、自動化の普及に伴って直動システムの需要が高まってくると考えています。「動くところには必ず直動システムの需要がある」と信じています。

現在、TMVはEPEということもあり、ベトナム国内での製品の販売を直接していませんが、ベトナムでTHKの製品の購入をお考えであったり、何か製品についてのご質問などありましたら、TMVまでご相談ください。展示会のブースにも是非お気軽にお立ち寄り頂き、当地の製造業様の生の声をお聞かせ頂ければと考えています。

#### ーありがとうございました。

